

◇日本近海底曳網解禁◇

北陸支部

9月2日、九頭竜川河口の三国港から、三国港機船底曳網漁業協同組合に所属する9隻が、日本海の沖合50～70キロの漁場に向け出港した。

例年ならば9月1日の底曳網解禁に合わせ8月31日の夜に出港しているが、今期は台風のため出港を延期し、海の状況を見ての出港となった。

また、その翌日には漁を終えた船が順次入港し、組合員が漁獲した甘エビやアカガレイなどの新鮮な魚介類が三国港の魚市場に水揚げされた。

出漁にあたり船主や漁業関係者は、近年の燃料油価格や漁労資材の高騰から厳しい状況はぬぐい切れないでいるが、解禁初日の漁模様に安堵の表情を浮かべ、今後の漁に期待を寄せていた。

「海員だより」